

しゃかいふくし ほうじん いわて かいこうほうし
社会福祉法人 岩手ひだまり会 広報誌

ひだまり

2019.1
vol.14



さむ
寒くてもへっちゃら
げんき
みんな元気です！
だいに さくらぎ
ひだまり第二桜木

新年ご挨拶



理事長

高橋洋子

あけましておめでとございませう。本年もよろしくお願ひいたします。平成最後の新年を迎え、様々な転換期の年になることでしょう。今年、釜石にてラグビーワールドカップの開催そして来年は東京オリンピックの開催もありませう。現地に行き、それぞれの観戦を楽しまれる予定の方もいらっしゃると思ひます。

昨年は、伊勢ノ海部屋奥州相撲合宿、日本自閉症スペクトラム学会全国大会など大きな行事の運営にも携わることができ、大変貴重な経験をする事ができました。六月に開催された伊勢ノ海部屋奥州相撲合宿では、小さな子供からお年寄りまで、地域の皆さんに楽しんでいただくことができたことは、何よりの成果であると思ひます。

ひだまりは、平成十八年にNPO法人としてスタートした時代から通算すると、早いもの

で来年十五周年を迎えます。児童デイサービス（現放課後等デイサービス）からスタートし、現在生活介護、就労継続支援B型、相談支援、日中一時支援等少しずつ子供から大人が通える事業も増えました。しかしながら、まだまだご家族の皆さんのご期待に応えられていないという現状です。就学前のお子さんのご利用も増えてきておりますし、医療的ケアの必要なお子さん方もおります。また、居住の場、短期入所、親亡き後の生活も含め、ひだまりを利用し下さる利用者さん、そしてご家族を生涯に渡りサポートできる場所を、将来的には作ってきたいと思ひます。

先日保護者会の忘年会に参加した際に、初めて参加したお父さんが、「ひだまりがあつてよかった、助かっています」と仰つてくださいました。普段は寡黙なお父さんが、一生懸命本音を話してくださり、良い機会となりました。いろいろ変化を求められる時代ではありますが、これからも変わらず、利用者さんそしてご家族の気持ちに寄り添える身近なひだまりでありたいと思ひます。

本年もどうぞ皆様の「ご指導」「鞭撻」のほどよろしくお願ひいたします。

岩手ひだまり会では、サービスの向上にむけて次の取り組みを行っています。

岩手ひだまり会では、毎年放課後等デイサービスの全利用家族に対してアンケート調査を行つております。これは平成二十九年四月に児童福祉法の改正を受けて、「放課後等デイサービスガイドライン」が示され、どの放課後等デイサービスも一年に一度の評価と改善事項を公表することが義務づけられています。ここでは保護者向け「放課後等デイサービス評価表」の法人としての全体集計結果(2頁)「ご意見」、ご報告いたします。尚、各事業所の評価結果と改善内容については本法人ホームページ及び各事業所に閲覧できるようにしておりますので、ご覧ください。

この評価と改善を通して安心して利用できる事業所、に向けて取り組んでまいりますので、宜しくお願ひいたします。

ほごしや しゅうけいけっか
保護者アンケート集計結果

はい

どちらともいえない

いいえ

わかいどう
無回答

1. 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。

63.5%

33.1%

2.0%

1.4%

2. 職員の配置数や専門性は適切であるか。

69.6%

27.0%

0.7%

2.7%

3. 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置化などの配慮が適切になされているか。

73.0%

20.9%

4.1%

2.0%

4. 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか。

93.2%

5.4%

1.4%

5. 活動計画が固定化しないよう工夫されているか。

86.5%

12.8%

0.7%

6. 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。

21.6%

52.7%

22.3%

3.4%

7. 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。

86.5%

12.2%

0.7%

8. 日頃から子どもの状況を職員と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解ができているか。

83.8%

14.2%

1.4%

9. 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。

81.8%

15.5%

0.7%

10. 保護者会の活動の支援や、保護者会等の開催等による保護者同士の連携が支援されているか。

72.3%

25.0%

1.4%

11. 苦情について、体制を整備するとともに、苦情があった場合に迅速・適切に対応されているか。

81.8%

16.9%

1.4%

12. 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために必要な配慮がなされているか。

84.5%

13.5%

1.4%

13. 定期的に会報等で行事情報、業務に関する評価結果を子どもや保護者に対して発信されているか。

84.5%

13.5%

1.4%

14. 個人情報に十分注意されているか。

89.2%

8.8%

2.0%

15. 緊急時、防災対応、感染予防マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。

72.3%

23.0%

1.4%

16. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。

87.2%

9.5%

2.0%

17. 子どもは通所を楽しみにしているか。

79.1%

17.6%

1.4%

18. 事業所の支援が満足しているか。

85.8%

10.8%

3.4%

ひだまり合同クリスマス会



いわれて だいいゅうにかいごうどう ひだまり合同クリスマス会

きたかみちく みずさわ えきちちく
北上地区と水沢・江刺地区に分
かれて第十二回合同クリスマス会
が開催されました。
水沢・江刺地区では、十二月
十六日に江刺コミュニティ
センターにて開催され、総勢約
二百九十名の参加となりました。
利用者発表では、「グーチョキパー
でパンプキン」（江刺桜木）、「U
S A」（江刺岩谷堂・江刺第二桜
木）、「よさこい」（水沢森下児童
課、生活課・胆沢）「やってみよう」
（水沢駅東・水沢横町）が
披露されました。
各事業所、
練習の成果を
存分に発揮す
ることができ
ました。



ことし まつもとけいごせんせい てらだしずえせんせい
今年も松本圭子先生と寺田静江先生が
かいじょう たの
会場を楽しませてくれました。

いき あ みずさわえきひがし みずさわよごまち
急の合った水沢駅東・水沢横町による
「やってみよう」



かくじぎょうしょ しょちょう ことし
各事業所の所長が今年も
サンタに扮して子ども達に
プレゼントを渡しました。

しよくいんばきょう
職員余興
ドラマ「今日から俺は！」の
しゅだいか おとこ くんしやう
主題歌「男の勲章」ダンス



ほごしやよきょう
保護者余興
「ヤングマン」
子ども達に負けにくいらい
げんき いっぱいの踊りで会場を
盛り上げてくれました。

ひだまり合同クリスマス会



みずさわもりしじょうか せいかつか いさわ
水沢森下児童課・生活課・胆沢による
「よさこい」

ひだまり合同クリスマス会




れんしゅう せいかに ほっき
練習の成果を發揮しました。
えさしきくらぎ 「グーチョキパーでパンプキン」
江刺桜木



うた うた からだ うご
歌を歌ったり体を動かしたり、
かいじょうには にぎ こえ ひび わた
会場には賑やかな声が響き渡りました。

子入りのブーツをご
寄附いただきました。
沢山の方々のご協
力のおかげで参加さ
れた皆様が無事に
楽しく過ごせたこと
を職員一同心より感
謝しております。あ
りがとうございま
した。



今年度も平成三十年奥州市歳末たすけあい運動地域づくり助成金、ひだまり保護者会からの助成金をいただき、開催することができました。また、株式会社ソノカワ様よりお菓

発表の合同には、音楽療法の松本圭子先生と寺田静江先生にご協力いただき、みんなで歌ったり、体を動かしたり、ドラムを叩いたり、賑やかな声が会場に響き渡りました。



いわやどうこうとうがっこう せいと
岩谷堂高等学校の生徒のみなさんが
ボランティアにかけつけてくれました。



十二月八日、北上地区合同クリスマス会を飯豊地区交流センターで開催しました。二事業所合わせて利用者、家族九十八名が参加しました。音楽療法の松本圭子先生の指導による親子で楽器演奏や「おめでとクリスマス」を歌い楽しみました。

きたかみちゅうほう きたかみ
北上中央、北上に「つと」の
きたかみちゅうほう きたかみ
北上地区合同クリスマス会



保護者懇談会開催

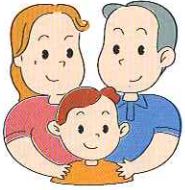
各事業所で、保護者懇談会が開催されました。事業所ごとに趣向を凝らし保護者の方々と交流を深める事ができました。

ひだまり江刺桜木

十月二十九日(日)に行われ、保護者懇談会とお茶会を開催いたしました。保護者懇談会は事業所運営について報告し、意見交換と事業所内見学が行われました。その後はお茶会を行い、有意義な時間を持つ事ができました。

ひだまり江刺岩谷堂

十一月十一日(日)に行われ、前半は事業所からサービス評価の報告や事業説明をさせていただき、その後の懇談会では皆さん打ち解けた雰囲気の中で家庭での様子や悩みなど様々な情報交換をする事ができました。「時間が短かったですね。」と名残惜しく会を終りました。



ひだまり水沢森下

十一月四日(日)に行われ、所長からアンケートの結果について話があり、その後はひだまりでの利用者の様子、学校や家庭での様子、今後の要望など、職員と保護者が和気あいあいとした雰囲気の中で話をする事ができ、有意義な懇談会になりました。

ひだまり水沢横町

十月三十一日(日)に保護者懇談会を開催しました。事業所運営について報告し、意見交換が行われました。参加者全員で手巻き寿司を作り、和気あいあいと食事をしました。その後、輪投げゲームをしたり楽しい時間を過ごしました。

ひだまり水沢駅東

十月三十一日(日)に行われ、サービス評価結果報告や事業内容の説明を行った後、保護者さんのお互いの悩み事の情報交換等で時間が足りなくなるほど盛り上がりました。その後の昼食会でお腹を満たし、昨年実施して再開の要望があったアニマルセラピーを、今回も実施して可愛い動物たちに癒されるひとときを過ごしました。

ひだまり北上にごっこ

十一月十一日(日)飯豊地区交流センターに於いて保護者懇談会を開催しました。サービス評価表に基づいた内容について主に話し合わせ、普段の職員の利用者との関わり方を見ている意見、また家庭での様子や変化について等、内容の濃い懇談会にする事ができました。その後は、「芋煮会」にて交流を深める事ができました。

ひだまり胆沢

十一月十八日(日)親子でカレーを作り、お腹を満たした後に、南中ソーランを踊りました。懇談では、事業運営、サービス評価結果、地震や災害時の対応等を説明後、保護者さん方の情報交換等を行い、有意義な時間を過ごすことができました。

ひだまり北上中央

十一月十一日(日)飯豊地区交流センターに於いて保護者懇談会を開催しました。「サービス評価結果」、「ちくちくことば対策」、「利用予定表提出のお願い」等について説明し、皆様からのご意見をいただきました。懇談会後は、保護者会主催の「芋煮会」にて交流を深めました。

保護者だより

中学生となる、わが子との
会話を楽しみに



道又縁さんと父 聡さん 母 由美子さん

ひだまりを利用するようになり六年目となりました。遠野から引越す前に小学校見学に行き「ひだまり江刺岩谷堂」を紹介されました。緊張して見学に行った時に親身になって話を聞いてくれたことを昨日のように思い出します。

縁も六年生になり来年小学校を卒業します。「学校に行きたくない」と玄関で泣いていた時、「本当にもう…」とため息をついた日もありました。小学校で学び、ひだまりで見守り支えられ少しずつ成長してきたと思います。先日、本人の希望で江刺市内から一人でバスに乗り「産業まつり」に行くことができました。親である私自身バスに乗るという経験



放デイ卒業生紹介

色々な活動をたのしみに

福田 悠 紀さん (十九歳)

をさせていなかったもので、その成長ぶりにびっくりしました。同じ学年の子よりゆっくりかもしれませんがしっかりとステップを上っているでしょう。ひだまりでの日々が成長の後押しをしていると思います。来年は中学生となります。心配な所もありますが中学生となった縁とどんな会話ができるか楽しみです。

平成三十年四月からひだまり 胆沢でお世話になっていきます。三月までは、前沢明峰支援学校へ通いながら「ひだまり水沢森下児童課」でお世話になっていました。

現在は胆沢のコスモスの家で仕事をしており、仕事が終わってからひだまり 胆沢を利用しています。平日の利用は、仕事が終わってから短い時間ですが、色々な活動や行事等もありひだまりさんを利用するのをいつも楽しみにしています。でも、音楽療法は少し苦手なようです。

土曜日は家で過ごすより、ひだまり 胆沢で過ごす方が楽しいようです。仕事が終わってから夕方までと、土曜日、祝祭日も利用出来るため、私たち親もとても助かっています。職員の皆様にはとても感謝しています。

これからも、親子共々よろしくお願いたします。

*若手ひだまり会では、「放課後等デイサービス事業」の他に、福田さんのように、放デイ利用を卒業した方も「日中一時支援事業」として安心して過ごせる居場所の提供を行っています。





「東京物語（七）」



広報・研修担当理事
向山 晃

私達、家族は「築地」で生まれた長女も含めて施設内で住込み生活をしてきた。最初の「江東区」の施設は能力が高い就労支援の青年たちだったので、生まれたばかりの娘は珍しがられてみんなからマスコットで過ごすだけだった。次の「練馬」は長い廊下のある公共施設だったので、小学生の同級生をよく連れてきて施設を遊び場にして過ごした。

小学校高学年になった頃の「世田谷」も、友達や運動会などの行事にも参加してもらったりもして、地域との接点になってくれた。

もう成人した娘は自分の経験した施設生活には何も言わないが、親としては本人の経験

よりも、施設で必要な存在だったと言え。死んでしまった犬。年寄りの猫。巣立っていった娘。いずれも施設の準職員だったとはつきり言えない。

前回でもふれたが、施設は優秀な職員だけでなく、いろいろ混在した人間関係でチームを組む事が大切だと思われる。それではじめて地域で「いい仕事」ができるのだろう。

編集後記



あけましておめでとございます。本年もよろしくお願ひ致します。今回の第十四号では、楽しかったクリスマス会など盛りだくさんの内容となっております。今年の冬も体調等十分に気を付けてお過ごしください。これからも、利用者様の体調に十分に配慮し支援をさせていただきます。（作間）

寄贈品について

以下の方よりご寄贈頂きました。

- 平成三十年四月十日 齋藤俊一様より りんごジュース五箱
 - 平成三十年五月一日 佐藤実様より お菓子詰め合わせ三十個
 - 平成三十年五月二十五日 田島創一郎様より ミュージカルアンパンマンショー チケット三枚
 - 平成三十年六月八日 (有)ジェイアンドエムコーポレーション様より ラップインバックシーラー機 三台
 - 平成三十年六月二十日 及川敦様より おひかりのなまはら 八本
 - 平成三十年七月二日 佐藤実様より 七夕菓子・ジュース五十袋
- ご寄附いただきました方々ありがとうございました。